

金（賢）研究室

科学と社会を結ぶデザイン



価値創造デザイン推進基盤
機械・生体系部門

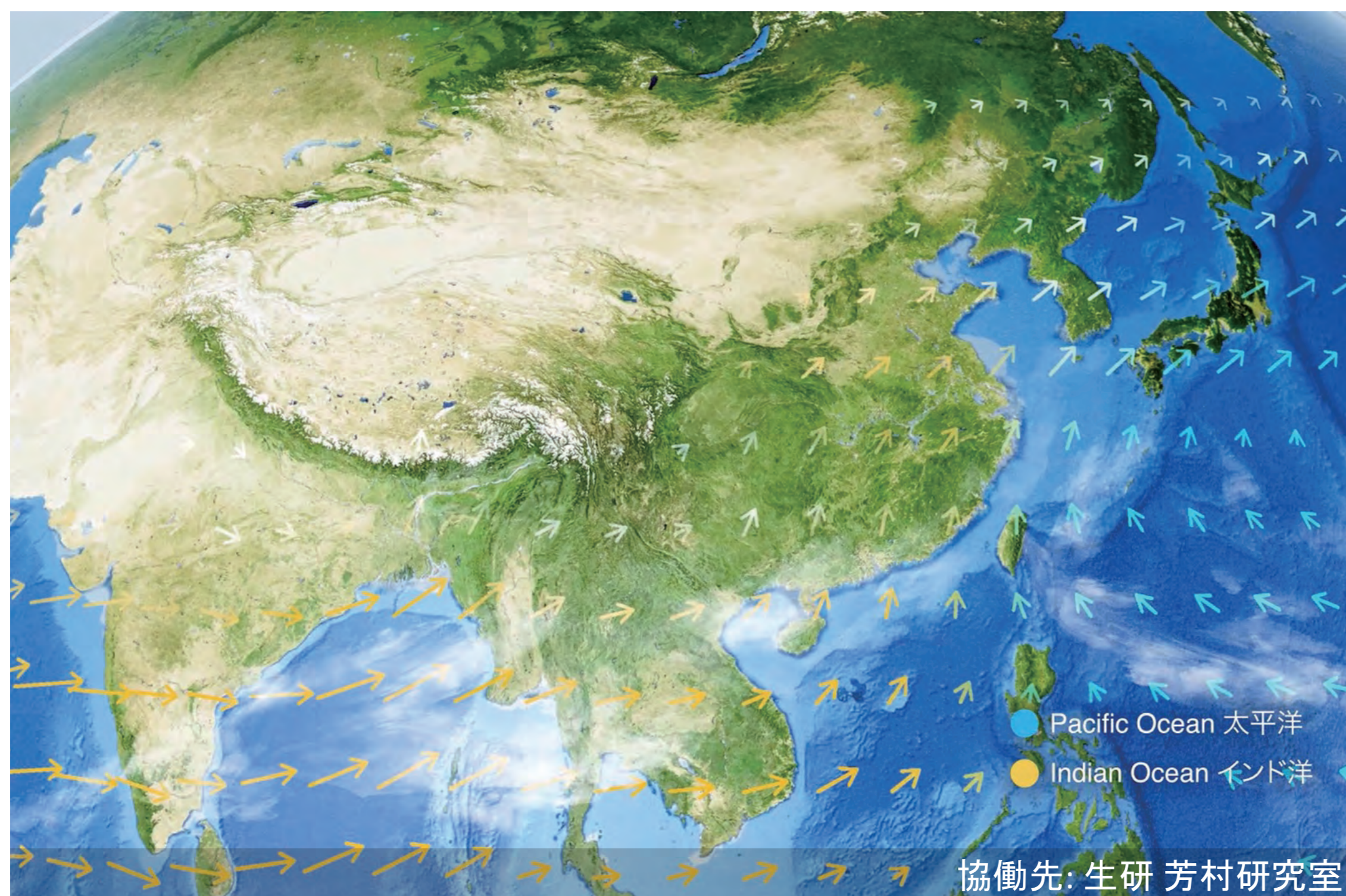
インタラクションデザイン

学際情報学府 先端表現情報学コース

<https://hjkim.info>

デザインがいかにして**科学と社会を結びつけ**、現代の大きな課題を解決できるかを探求しています。生研をはじめとする学内の研究室と協働し、研究成果を**インタラクティブなデザインや体験、展示**へと形にしています。それによって、現状への理解を深め、人や環境とのつながりを大切にする、しなやかでレジリエントな「望ましい未来」の構築に貢献します。こうした取り組みは多様な人々の協働によってこそ成し遂げられると考え、具体的な変化を生み出すべく、分野を横断するグローバルなチームとして活動しています。

人間とノンヒューマンの垣根を越え、世界との関係性を捉え直す



協働先: 生研 芳村研究室

Moisture Commons (2025 - 現在) 九州における梅雨の起源とその年々の変動を辿るビジュアル・ナラティブ。気候に関する知識を単なる「情報」としてではなく、「体感」できるものへと変換。



協働先: 大学院農学生命科学研究科 獣医動物行動学研究室

Rats in the City (2024 - 現在) 東京での1年間にわたるフィールドワークに基づいたインタラクティブなインスタレーション。先入観を手放し、都市のネズミと新たに向き合う体験を生み出す。

科学技術をより身近なものへ



協働先: 生研 池内研究室

Talking with Neurons (2022 - 2024) 体外で培養された脳の神経細胞と遠隔で対話するインスタレーション。



協働先: KAIST 産業デザイン学科

MIRAbot (2024 - 2025) 半自動運転の体験をより楽しく、インクルーシブなものにする、ロボット型ルームミラー・アシスタント。

「Treasure Hunting」プロジェクトを通じて**DLXデザインラボ**とも協働しています。

